

各種資産評価単価の訂正に伴う費用対効果への影響について

R4年8月1日水管理・国土保全局河川計画課より発表された、「治水経済調査マニュアル（案）各種資産評価単価及びデフレーター」の訂正※に伴い、平成29年度・令和元年度・令和2年度に事業評価を実施した事業について、訂正単価を用いて便益の算出を行い、費用対効果への影響を確認。

※「各種資産評価単価及びデフレーター（平成19年度（2007年度）公表分～令和2年度（2020年度）公表分）」における各種資産評価単価の訂正について
https://www.mlit.go.jp/river/basic_info/seisaku_hyouka/gaiyou/hyouka/pdf/20220801_Teisei.pdf

評価年度	分野	事業名	内容	B（億円）			B/C		
				訂正前	→	訂正後	訂正前	→	訂正後
R1	河川	白川直轄河川改修事業	再評価	10,819	→	<u>10,813</u>	21.3	→	21.3

※修正箇所を朱書きにて表示

各種資産評価単価の訂正に伴う費用対効果への影響について

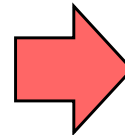
※修正箇所を朱書きにて表示

2. 事業の必要性等【事業の投資効果】

訂正前

◆全事業における費用対効果の結果

項目		今回評価時 (令和1年度)
全事業	便益: B(億円)	10,819
	一般資産被害額 : 3,929.0 (36.32%) 農作物被害額 : 23.0 (0.21%) 公共土木施設等被害額 : 6,655.8 (61.52%) 営業停止損失 : 92.9 (0.86%) 応急対策費用 : 112.5 (1.04%) 残存価値 : 5.8 (0.05%)	
	B/C	21.3



訂正後

◆全事業における費用対効果の結果

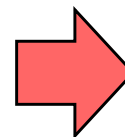
項目		今回評価時 (令和4年度)
全事業	便益: B(億円)	10,813
	一般資産被害額 : 3,926.8 (36.32%) 農作物被害額 : 23.0 (0.21%) 公共土木施設等被害額 : 6,651.9 (61.52%) 営業停止損失 : 92.9 (0.86%) 応急対策費用 : 112.5 (1.04%) 残存価値 : 5.8 (0.05%)	
	B/C	21.3

3. 事業の進捗見込み(河川整備計画の内容)

訂正前

項目	当面実施する整備
便益(B ₁)	8531.2億円
残存価値(B ₂)	2.3億円
総便益(B ₁ +B ₂)	8533.5億円

項目	当面実施する整備
建設費(C ₁)	159.2億円
維持管理費(C ₂)	3.3億円
総事業費(C ₁ +C ₂)	162.5億円
費用便益比	52.5



訂正後

項目	当面実施する整備
便益(B ₁)	8526.1億円
残存価値(B ₂)	2.3億円
総便益(B ₁ +B ₂)	8528.4億円

項目	当面実施する整備
建設費(C ₁)	159.2億円
維持管理費(C ₂)	3.3億円
総事業費(C ₁ +C ₂)	162.5億円
費用便益比	52.5